

歴史まちづくり活動 概要シート

ブロック名	建築士会名	支部(地域会)名			
近畿	京都府建築士会				
活動団体名①	代表者連絡先				
修徳まちづくり委員会	住所				
	TEL				
活動団体代表者名	FAX				
福井 謙三	E-mail				
活動名	修徳学区のまちづくり				
活動概要					
<p>①平成13年 「修徳学区地区計画」の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修徳まちづくり委員会において、これまでのまちづくりの集大成として地区計画(案)を検討。 ・特に、マンション建設工事とマンションの建物自体から受ける被害の訴えが多くなり、学区の歴史や文化遺産の伝統にふさわしいまちなみを保とうという意図から、「修徳学区の地区計画」を策定し、修徳学区の方針を表明した。 <p>②平成18年 修徳まちづくり憲章第1部の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「修徳学区の地区整備計画」を策定する前に、修徳学区の文化的史跡にふさわしいまちなみや安心安全できれいな「まち」づくりの共通認識を学区外の関係者にも理解してもらうため、地区計画の方針をさらに詳細に具体化した「修徳まちづくり憲章」の作成に取り組んだ。 <p>③平成19年～22年 修徳まちづくり憲章第2部の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物や土地利用といった分野を中心に、修徳の目指す姿をまとめた第1部に続き、日常生活の中での防災・防犯をはじめとした危機管理のあり方をまとめた「まちづくり憲章第2部」を作成。 ・平成19年度は、学区を4ブロックに分けてワークショップを行い、「きれいなまちを崩す要因」をテーマに意見を出し合った。 ・平成20年度は、ワークショップの意見をもとに課題を抽出し、まちづくり委員会に「すまい・まちなみ部会」、「安心のみち部会」、「交流と安全部会」の3つの部会を設け、各部会で勉強会などを実施している。部会での成果をまとめ、平成22年2月にまちづくり憲章第2部町並み編、3月に第2部安全・安心編を策定した。 <p>④平成24年 地域景観づくり協議会に認定</p> <p>京都市の「地域景観づくり協議会」に認定され修徳学区内で建築行為等を行う場合は協議会との意見交換が義務づけられた</p>					
活動の起因 (きっかけ)	平成4年、修徳小学校の跡地活用問題をまちづくりの契機とし、多くの住民がアンケート、勉強会、ワークショップに参加した。				
地域貢献度	○				
	大変貢献している	少し貢献している	どちらともいえない	余り貢献していない	殆ど貢献していない
活動団体②	(主たる活動団体)		(協力活動団体)		
建築士会関係度 (建築士会単独=100%)			○		
	100～80%	80～60%	60～40%	40～20%	20～0%
その他 (展望・課題)	コアメンバーの固定化と高齢化が進み、次代を担う人材育成がなされておらず、これらの事業の今後の長期的な展望が描けていない。				

※地域貢献度・建築士会関係度は独自の判断で結構です。(該当箇所に○印)

- ・上段の活動団体名①は、建築士会名ではない活動専用の名称がある場合の名称です。
- ・下段の活動団体②は、主に活動している組織名と、共に実践している協力組織がある場合にはその名称をご記入ください。
- ・1案件につき本シート1枚で整理して頂けます様お願いします。